

# 乃木坂スクール講座#14

## デンマークにみる 普段着のデモクラシー

2024年5月2日

### 抜粋資料

ユーロ・ジャパン・コミュニケーション代表

小島ブンゴード孝子

# 「デンマークにみる普段着のデモクラシー」

## デンマークという社会

- \*医療・福祉・教育・政治・人びとの生活・働き方・家族など  
それらすべての根底に、デモクラシーが流れている



「どこを切っても、金太郎あめのようにデモクラシーが出てくる社会」

- \*デンマークには多数決でないデモクラシーがある  
いかに少数派の意見を社会に反映させることができるか

- \*キーワードは、

対話

信頼と連帯

個と社会のバランス

多様性の中の平等



2023年6月  
かがわ出版

# 北欧の光とデンマークの「国のかたち」

- 上からの光と下からの光      デモクラシーが生まれ、根付いた流れ  
下からの光とは？ lyse op (light up) → oplysning (enlightenment)

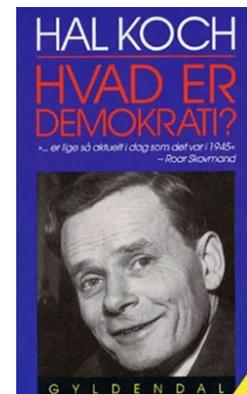
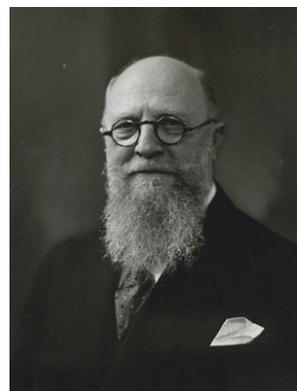


19世紀のフォルケホイスコーレ



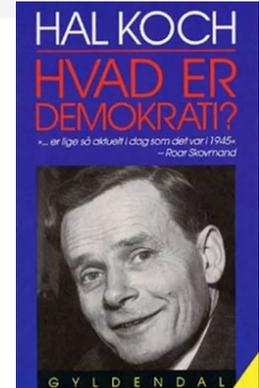
現代のフォルケホイスコーレ 若者もシニアも

啓蒙/啓発教育



レーヴェントロー 1748-1827    グルトヴィー 1788-1872    スタウニング 1873-1942    ハル・コック 1904-1963

# ハル・コック著 「デモクラシーとは何か」



- 民主主義は、完成されるべきシステムでも教理でもない。それは自分のものにすべき**ひとつの生活様式**である。
- 合理的に理解されるよう対話を通じて努力する、これが民主主義である。その本質は、**話し合い(対話)と相互の理解および尊重**である。
- 人間的な覚醒、すなわち**啓蒙と教育**、それなしには民主主義は危険なものになる。
- 多数派というのは、まさに怪物だ。  
多数派主導の調整が、**最高度に非民主主義的**だ。
- 権威主義国家では、決定がなされると反対意見は沈黙する。  
しかし民主主義社会では、あらゆる決定が相対的で、**正しいことがらへの接近**にすぎず、それゆえに、討議は止むことがない。

対等・平等な話し合いで解決・決定できる共同市民性を目指してほしい

「生活様式の民主主義 デンマーク社会の哲学」(小池直人訳)

# 19世紀から20世紀の流れ

\*デンマーク女性の動き

- 1814年 義務教育の始まり (世界で最も早い) <レーヴェントロー>
- 1849年 民主憲法制定(専制君主制から立憲君主制へ)
- 1800年半ば~ 小規模農業経営者→協同組合を組織(自由+教育+連帯)  
<グルントヴィー>
- 1864年 ドイツ(当時のプロシア)に敗戦 人的資源で国復興の気運
- 1871年 女性の全国組織(Dansk Kvindesamfund)結成
- 1899年 労働組合と雇用者間のストライキ・ロックアウト→労使協定
- 1915年 女性が国政選挙権を獲得
- 1930年代: 社会制度改革法→社会福祉国家の基盤が形成された  
<スタウニング>
- 1940-45年: 第二次世界大戦 ナチスドイツに占領された <ハル・コック>
- 1950-60年代: 戦後好景気 労働者不足 女性社会進出→公共福祉の必要性  
社会民主党中心の政治体制→税金で皆が社会を支える
- 1970年代: 地方分権制度確立
- 1983年 所得税申告制度改正 既婚女性の個別納税が認められた
- 1980年代: 不況:失業・少子高齢化→予算削減 公共サービスの合理化
- 1990年半ば~ 不況から脱却

# デンマークの社会基盤

## ■ 国にとり最も大切なものは・・・ひと＝資源

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| ① 人的資源のレベルアップ: | 教育は国最大の投資（公共）        |
| ② 人的資源をフルに活用:  | 男女ともに働く<br>良い労働環境づくり |
| ③ 人的資源をたいせつに:  | 公共福祉・医療の整備（公共）       |

教育・福祉・医療すべてがゆりかごから墓場まで  
連帯精神で皆が社会を支える＝高福祉(医療・教育)高負担

## ■ デンマークの税金

所得税(国税＋地方税＋保健税):平均すると約45%

消費税(付加価値税):25% (教育活動を除くすべての商品とサービス)

タバコ、アルコール、自動車等への特別税

教育: 基本的に無料

医療: 基本的に無料 薬代の一部個人負担

福祉: 大半の経費を国と地方自治体が負担

国民年金: 以前は65歳だったが、段階的に2022年までに67歳へと引き上げられた  
現在それ以降の引き上げの可能性につき検討中

# デンマークの「人のかたち」

## ■ 幼年期にめばえるデモクラシー

\* 夫婦共働き社会 → 96%の幼児は保育所

\* 保育と幼児教育 ペダゴギー(社会生活指導員)

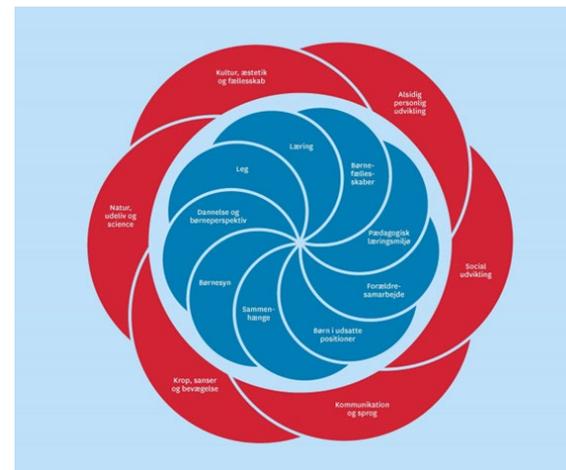
ひとりひとりが価値ある存在

決定に参加する

共同体の一員であると認識する



自己決定・自助能力・自己肯定感



## 保育/幼児教育ガイドライン 6つの学びプラン

1. 総合的人格形成
2. 社会性の発達
3. コミュニケーションと言語
4. 身体、感覚、運動
5. 自然、野外活動、科学
6. 文化、美意識、共同体



子ども目線でのデモクラシーと  
決定への参加

子ども/教育省 ハンドブック

# デンマークの「人のかたち」

## ■ 義務教育で学ぶデモクラシー

＊考える、伝える、聞く、話し合う

＊学校理事会と生徒会

＊疑似選挙

＊青少年国会

＊こども市議会



授業はたのしい

生徒参加の学校理事会



疑似選挙での投票風景



こども市議会

## ■ 若者たちのデモクラシー      自分で決める卒業後の人生進路

＊3つの選択肢: 高校/職業専門学校/アフタースクール

＊精神的な自立と経済的な自立: 奨学金で自活生活    社会の若者を税金で支援

20歳前後で親離れ

# 生活の中のデモクラシー

## ■ 「信頼と連帯」で成り立っている社会

＊福祉社会の基本は、信頼と連帯

＊デジタル社会の基本も、信頼と連帯

＊コロナ・パンデミックでみえた 国と人びとの信頼と連帯



政党間の対話

## ■ 「対話」のたいせつさ

＊政治舞台における対話

＊デモクラシーの祭典

「フォーク・ミーティング」

＊職場でのデモクラシー

＊ユーザーデモクラシー

＊家庭内のデモクラシー



年一度のデモクラシーの祭典

## ■ 多様性の中の平等とは

出る杭は打つのではなく、育てよう！



病院運営にも利用者代表参加

# 付録① デンマークという国

- 人口:約590万人(日本の約1/21、移民は約12%)  
面積:日本の約1/9 (北海道の約1/2)
- ヨーロッパ最古の王室  
今年1月マルガレーテ女王の生前退位でフレデリック10世誕生  
1867年に日本と修好通商航海条約を締結し、国交樹立  
開かれた王室
- デンマークの政治  
一院制(議員数:179名) 多党政治(12)  
2022年11月1日総選挙 3党連立内閣誕生(与党89、野党86)  
投票率:84.2%、女性議員:43.5%、議員の平均年齢:42.83歳  
最年長75歳(70代は1人)、最年少21歳(20代は14人)  
首相:46歳女性  
閣僚:大臣の平均年齢47歳 女性大臣 23名中8名

## 付録② 最近の国際比較調査にみるデンマークと日本

- 国内総生産(GDP) 一人当たりの国内総生産 (2023年、IMF)  
日本 4位 デンマーク 37位 デンマーク 9位 日本37位
- 世界幸福度調査  
デンマーク 2位 日本 47位 (137ヶ国、2023年、国連)
- 腐敗認識指数 (社会の透明度)  
デンマーク 1位 日本 18位 (180カ国、2022年、IPC)
- 国際競争力調査  
デンマーク 1位 日本 35位 (63カ国、2023年、IMD)
- 電子政府調査 (公共機関のデジタル化)  
デンマーク 1位 日本 14位 (193カ国、2022年、国連)
- 環境パフォーマンス指数  
デンマーク 1位 日本 25位 (180カ国、2022年、YCELP)

# デンマークに半世紀暮らして



- 1973年： デンマーク人と結婚、デンマークに移る
- 1975年～：子育て、フルタイム勤務
- 1983年～：独立 日本語/デンマーク語/英語で通訳・翻訳業  
100ボルトと220ボルト思考の変圧器

大熊由紀子さんの著書『「寝たきり老人」のいる国いない国』（1990年）

デンマーク福祉への関心が一気に高まる 誰からも同じ質問が！

- 1990年代後半～：独自の研修企画・日本での講演・執筆活動開始
- 2000年～2018年：日本の高齢者介護への挑戦

北欧諸国で普及している「北欧式トランスファー介助法」を日本に紹介  
全国各地で普及セミナー活動

介護者もたいせつな人的資源

人間工学に基づく自然な動きで「腰痛よさようなら！」

マニュアル依存介護から考える介護へ

介護する人・される人どちらにもやさしい介護を目指せ



# コロナパンデミック・アフターコロナで見たもの

## ■ コロナ・パンデミック

＊鎖国状態となった日本

＊コロナ政策:あまりに違ったデンマークと日本の対応

＊日本のなかなか変わらない社会と人の意識 日本だいじょうぶ？

＊日本女性のパワーで日本を救えるか？

「デンマークの女性が輝いているわけ」

共著:小島ブンゴード孝子・澤渡夏代ブラント (2020年、大月書店)



## ■ アフターコロナ

～ロシアによるウクライナ侵攻～そしてイスラエル/パレスチナ紛争etc.

＊きな臭くなった世界情勢 世界はこれからどうなる？

＊デモクラシーの危機が叫ばれる時代

＊日本のデモクラシーだいじょうぶ？

「デンマークにみる普段着のデモクラシー」

共著:小島ブンゴード孝子・澤渡夏代ブラント (2023年、かもがわ出版)



web: [www.eurojapancom.jp/](http://www.eurojapancom.jp/)

e-mail: [office@eurojapan.dk](mailto:office@eurojapan.dk)